

## 電気設備点検報告書

- 1.受変電設備
- 2.屋外型キュービクル
- 3.屋外型非常用発電機
- 4.動力設備
- 5.電灯設備
- 6.弱電設備（放送・呼出設備等）
- 7.自動火災報知設備

### 1.受変電設備

既設高圧気中開閉器及び高圧ケーブルは、建設当時の2000年（平成12年）の機器です。  
目安対応年数としては10年～20年となっております。

### 2.屋外型キュービクル

既設屋外キュービクルは、建設当時の2000年（平成12年）の機器です。  
屋根部分の吊り用アイボルトに若干の錆が確認できます。  
扉部分の内面、蝶番回り、換気扇フード部分に錆が確認できます。  
目安対応年数としては10年～20年となっております。

### 3.屋外型非常用発電機

既設屋外非常用発電機は、建設当時の2000年（平成12年）の機器です。  
筐体に錆が確認できます。  
目安対応年数としては10年～20年となっております。

### 4.動力設備

既設動力盤及び配管配線は、建設当時の2000年（平成12年）の機器です。  
盤内の塵、ホコリがあり清掃が必要です。  
設備棟1階の動力盤下面は漏水による錆がかなり出ている状態です。  
機械工事にて更新する機器類の配管配線の繋ぎ替えが必要となります。  
目安対応年数としては10年～20年となっております。

### 5.電灯設備

照明器具、配線器具、配管配線及び電灯分電盤等は、建設当時の2000年（平成12年）の機器です。  
照明器具は経年劣化が見られます。  
目安対応年数としては15年となっております。

### 6.弱電設備（放送・呼出設備等）

放送・呼出設備等は、大半が建設当時の2000年（平成12年）の機器です。

一部浴室及びサウナのスピーカ、不具合のある機器等は更新されたと思われませんが、その目安対応年数としては15年となっております。

#### 7.自動火災報知設備

受信機・感知器及び配管配線等は、建設当時の2000年（平成12年）の機器です。

目安対応年数としては15年となっております。

不具合のあった感知器等は、前回の調査の聞き取りでその都度改修済みとのことでした。